

ママのビタミン

インフルエンザの『異常行動』には注意!

インフルエンザウイルスには、かからないようまずは手洗い、そして、予防やかかってもしどくならない様にワクチンを打ちます。しかしながら、かかってしまった時には、内服薬や吸入薬、点滴の抗インフルエンザ薬があり、インフルエンザと確定されると医師が処方します。これらのような対応にプラスして必ず注意していただきたいことがあります。インフルエンザにかかってしまった時は、薬を使っている使っていないに関わらず、『異常行動』には注意をしていただきたいのです。特に発熱から2日間は注意が必要です。

大丈夫!
すぐによくなるよ



@異常行動とは

- 突然立ち上がって部屋から出ようとする
- 興奮して窓を開けてベランダに出て、飛び降りようとする
- 人に襲われる感覚を覚え、外に走り出す
- 突然笑い出し、階段を駆け上がろうとする
- 変なことを言い出し、泣きながら部屋の中を動き回るなどです。



@異常行動からの事故を防止するために

発熱から少なくとも2日間は、就寝中を含め、特に小児・未成年者が容易に住居外へ飛び出さないために対策(下記参考例)を講じてください。

- 玄関や全ての部屋の窓を確実に施錠する
(内鍵、チェーンロック、補助鍵をかける)
- 窓の格子のある部屋に寝かせる
- ベランダに面していない部屋で寝かせる
- 2階以上の家では、できる限り1階で寝かせる

忙しい育児の中での対応は大変かもしれませんが、是非、気を付けてください。



薬のギモン・質問は、お近くの薬局 もしくは、ぎふ薬事情報センターまで ☎058-247-5122

協力/ 岐阜県薬剤師会 〒500-8146 岐阜市九重町4-5 <http://www.gifuyaku.or.jp> 岐阜県薬剤師会 検索